

## 第4章の注

注1 ①「談話のフィールド(言語活動領域)」(field of discourse)は、起こっている事柄、行われている社会的活動の本質を指し、例えば「専門的な医学に関する講義」や「日用品を買うための(非専門的)なやり取り」などである。②「談話のテナー(役割関係)」(tenor of discourse)は、参加者は誰かや、その関与者の地位や役割を指し、「専門家から聴衆(読者)へ」や「親と子のやり取り」など、③「談話のモード(伝達様式)」(mode of discourse)は言語が果たす役割、関与者が言語に期待する役割を指し、「マスメディアを通して声を出して読まれるために書かれたもの」や「独り言も交えた対話の話し言葉で、指示を与えたり、要求を述べたりする」などと記述されるものである。

注2 オング(1982)は、書いたり印刷したりということを全然知らない文化のことばにもとづく性格を、「一次的な声の文化」と呼び、文字に親しんだ文化における話し言葉である「二次的な声の文化」とは区別している。そして一次的な声の文化に特徴的な思考と表現として 1.累加的であり従属的でない、2.累積的であり分析的でない、3.冗長ないし「多弁的」、4.保守的ないし伝統主義的、5.人間的な生活世界への密着、6.闘技的なトーン、7.感情移入的あるいは参加的であり、客観的に距離をとるのではない、8.恒常性維持的、9.状況依存적であって、抽象的ではない、といった点を挙げた。また、多くの文化やサブカルチャーが、高度技術文明につきながらも、程度の差はあれ一次的な声の文化の思考様式を相当に保っているとも述べている。したがってこれらの特徴のいくつかが現在の日本語の話し言葉に見られても不思議ではない。また、すでに文字の文化に親しんだ日本語の話し言葉に、書き言葉が影響を与えることも当然のことと言えるだろう。

注3 英語の音声学には、key に似た register という概念がある。Cruttenden(1997, p.124)によれば、話者の感情表出に関しては register よりは主に key の違いに帰せられるとしているが、前者は高いピッチの音節と低いピッチの音節の平均を計算して計り、後者は発話全体の基本周波数の平均を計算して計るという。しかしながら、いずれにせよ key の幅が広い場合と高い register は喜びや怒り、恐れ、驚きの感情を、狭い key の場合と低い register は、退屈している様や悲しみを表現する傾向があることが報告されている、という。この register は社会言語学での「言語使用域」や「使用相」と訳される register(4-1-1 参照)とは異なる。

注4 イントネーションなどのパラ言語的特徴上の性差に関する研究は、スミス(1987, p.49-78)に紹介されている。スミス(1987, p.50)によれば、これらの研究については確定的な結論を出すにはデータが十分でないとしているが、米・英での研究では女性は男性より多種のイントネーションを使い、イントネーションの躍動性が女らしさに典型的だと見なされることが示されているという。

注5 被験者は3-2-3の調査と同じ新潟市内の専門学校生8人で、音声は以下の順で資料Bの一部分を聞かせた。原則として1回だが、やり方がわからず最初に聞かせた談話の答えが書けなかった被験者がいたため、1番目の音声(童話「浦島太郎」)は合計で2回聞かせた。また「その他」を選択した被験者が当該箇所を1回ずつ聞きなおした。

1. 童話「浦島太郎」(女性) 「…このとき浦島～そう思って浦島は…」 (fura30～37)
2. ニュース(男性アナウンサー) 「…今日から始まった～指定都市に移行して…」 (fnew16～20)
3. 討論での発言(女子高校生) 「…コンビニの人も～今ダイエットしててえ…」 (fdit5～11)
4. 小説「赤ん坊と半鐘」(男性) 「助けられたけれど～おミヨが急いで出て来た 遅かった…」 (maka35～39、ただし最後のおミヨのせりふ部分「遅かった」の部分は資料Bには含まれていない。)
5. 育児番組での回答(女性医師) 「…しやすいっていうことがあります～心配ありません…」 (mish29～37)
6. 番組司会(男性アナウンサー) 「…ではないかと、近くのお子さんとかう比べて～たとえば 親とか…」 (mken1～8)
7. 童話「町のねずみと田舎のねずみ」(男性) 「…ちょっといなか～ここに僕の住みかなん…」 (mnez17～26)
8. 討論での発言(男子高校生) 「…僕の家っていうのは～やっぱりはじめのうちはあ…」 (mkom30～38)
9. 番組司会(女性アナウンサー) 「…私のリハビリ体験～くも膜下出血の後遺症…」 (fkai3～12)
10. 小説「新聞紙」(女性) 「…科の医者呼んだときは～オムツ類がいっぱいあることや 僕が…」 (fshi11～19)
11. 育児番組での回答(男性医師) 「…えっと一ま、三時間ぐらいのフライトでえ～なると載せてくれません…」 (mish43～50)
12. ニュース(女性アナウンサー) 「…一般質問に答えて～西暦二千年頃をめぐ…」 (fnew5～9)